

【家庭教育支援チーム】

(1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	霧島市国分地区家庭教育支援チーム (呼称:子育てサロン「のびのび」)
②活動拠点	国分西の里コミュニティセンター
③活動範囲	国分地区を中心に霧島市全域
④組織体制	16人 子育てサポーター(民生委員・児童委員)13人 霧島市教育委員会職員3人
⑤活動開始年度	令和4年度
⑥問合せ先	(部署・氏名等) 霧島市教育委員会社会教育課社会教育グループ 和田 敏郎 (TEL)0995-64-0708 (E-mail)gakusyu@city-kirishima.jp

(2)活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への学びの場の提供 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への地域の居場所づくり <input type="checkbox"/> アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) <input type="checkbox"/> 自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> 保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> その他()
②活動対象 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 乳幼児 <input type="checkbox"/> 小学生(低学年) <input type="checkbox"/> 小学生(中学年) <input type="checkbox"/> 小学生(高学年) <input type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生以上 <p style="text-align: right;">の子供を持つ保護者に対する活動を実施</p>

<p>③活動内容</p>	<p>【具体的な活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「親子の育ちを支える」ことを通して、家庭教育の充実を図ることを目的にした各種の活動を推進している。 ・ 活動内容については、ひな祭りや運動会、クリスマスなどの季節の行事などを取り入れて、親しみやすく楽しい年間計画を作成している。 ・ 毎月第3土曜日の午前中に実施。 ・ 事前にスタッフで打合せを行い、活動の流れ、役割分担、準備するものなどの確認をしている。 ・ スタッフは全員お揃いのエプロンを着用し、親しみやすい雰囲気づくりに努めている。 ・ 活動を通して、また、活動後のティータイムのときに、子育てに関する不安や悩みなどの相談に応じている。 ・ 保護者の許可を得てスタッフが乳幼児を抱っこして、保護者がリラックスできる時間を創出している。
<p>④活動の成果 (活動実績がある場合)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 回数を重ねるにつれ、スタッフのコミュニケーション力が高まり、明るく楽しい雰囲気づくりがさらに醸成されてきている。 ・ 活動を通して、参加者同士またはスタッフとの情報交換ができ、子育てに関する不安や悩みなどを共有し、明るい家庭づくりの一助となっている。 ・ 連続して参加する親子もあり、親子にとっての居場所になりつつある。 ・ スタッフが子どもの相手をすることで、保護者にはリフレッシュの時間にもなっている。 ・ 保健福祉政策課や霧島市民生委員児童委員協議会との連携が深まり、協力体制がより一層できてきている。
<p>⑤活動財源 (複数チェック可能)</p>	<p><input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 地方公共団体単独事業として実施</p> <p><input type="checkbox"/> 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 (赤い羽根共同募金の助成)</p>